

# 入札監理小委員会における審議の結果報告

## JICA ボランティア事業支援業務

### (選考支援業務、派遣前研修実施業務、派遣前訓練実施業務)

独立行政法人国際協力機構における JICA ボランティア事業支援業務については、公共サービス改革基本方針（別表）において、平成 25 年 4 月から平成 28 年 3 月までの 3 年間<sup>1</sup>を契約期間として、民間競争入札を実施することとされている。

これに基づき、当該民間競争入札の実施要項（案）を入札監理小委員会において審議したので、その結果（主な論点と対応）を以下のとおり報告する。

#### 1. 委託業務内容の明確化について

##### 【論点】

- 派遣前研修と派遣前訓練については専門性が高く、どの部分について民間委託するのかが不明確で委託業務の範囲を明確にした方がよいのではないか。

##### 【対応】

- 派遣前研修と派遣前訓練において、民間事業者に委託する範囲が明確となるよう、講師について①機構が選定②民間事業者が選定若しくは直接実施の分類を一覧表に追記した。アンケートについても②に該当する講座のみを集計・評価し、民間事業者の責任の及ぶ範囲を明確化した。

#### 2. 提出する連結財務諸表の期間について

##### 【論点】

- 民間事業者に提出させる資料として、単体の財務諸表を 3 期分、連結財務諸表を 1 期分求めているところだが、連結についても 3 期分求めた方がよいのではないか。

##### 【対応】

- 該当がある場合は、連結についても 3 期分求めることとした。

<sup>1</sup> 駒ヶ根訓練所における訓練実施業務については、平成 26 年度下半期以降、工事が行われ駒ヶ根訓練所とは別の場所(未定)で行う予定であることから、3 年間の契約期間を 1 年半に分割し、それぞれ別の実施要項案を作成し、入札を行うこととする。

### 3. 民間事業者からの意見聴取への対応について

#### 【意見】

- 企画書提出時までには業務に従事する要員を全て確保することは困難と考えられることから、業務従事者の経験、能力を詳しく記載させるのは総括責任者とコースリーダー程度に留め、一般スタッフは対象外にした方がよいのではないかと。

#### 【対応】

- 御指摘の趣旨を踏まえ、業務従事者の経験・能力としては総括責任者、コースリーダーのみ求めることとし、スタッフについては求めないこととした。また、業務実施体制として提出させるものとしては、スタッフ名ではなく、スタッフ数のみ求めることとした。

以 上